

株主通信

第42期

第2四半期

2020年4月1日～2020年9月30日

証券コード：4828

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援とご高配を賜り、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。ここに、当社グループ第42期第2四半期の「株主通信」をお届けし、当期の状況についてご説明申し上げます。

2020年12月

取締役社長 羽田 雅一



第2四半期の概要

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、国内外における新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあり、企業収益は悪化しているものの、経済活動が再開するもとの景気は持ち直しています。

情報サービス産業におきましては、ITの戦略的活用に対する顧客ニーズは高いものの、企業収益が悪化するもとの、顧客の情報化投資意欲は不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、コンサルティングサービス、ソフトウェア製品、システム構築、運用・保守サービス、クラウドサービス等の提供を通じて、顧客のデジタル変革（DX）や経営課題解決に貢献する付加価値の高いソリューションの提供に努めました。

当第2四半期累計期間の業績につきましては、受注高

9,178百万円（前年同期比6.3%増）、売上高8,983百万円（前年同期比3.4%増）となりました。利益面につきましては、営業利益1,249百万円（前年同期比32.2%増）、経常利益1,255百万円（前年同期比32.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益831百万円（前年同期比40.0%増）となりました。

第42期（2021年3月期）の配当金につきましては、中間配当金を1株あたり22円とさせていただきます。期末配当金は23円を予定しており、年間配当金は45円となる予定です。

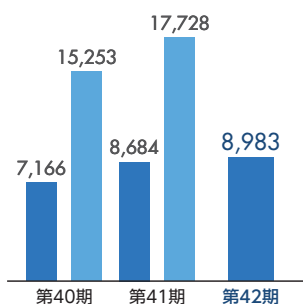
株主の皆様におかれましては、当社事業へのご理解とともに将来性にご期待いただき、引き続き長期的な視点でのご支援を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

■ 第2四半期累計期間 ■ 通期

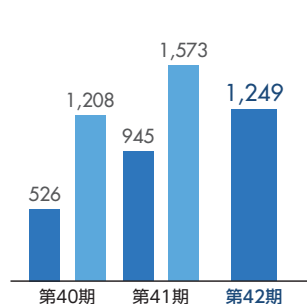
売上高

(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)



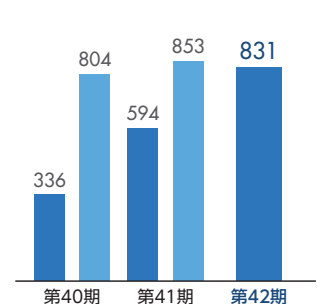
経常利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



スマート工場EXPO名古屋に 久しぶりのリアル出展

当社は、2020年10月21日(水)～23日(金)に開催されたスマート工場EXPO名古屋に出展いたしましたので、ご紹介いたします。コロナ禍発生以降、暫くの間はオンラインでのイベント実施でしたので、リアルでの出展は実に8カ月振りとなりましたが、経産省がデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進していることもあり、お客様の関心は非常に高く、当社のブースには予想の3倍を上回る来場者にお立ち寄りいただけました。

コロナ禍での出展ということもあり、当社はブース内が密にならずにお客様へご満足いただける情報をお届けするという観点から、東京の本社オフィスと接続してのオンライン商談や、製品のご紹介を始めとする37ものウェブコンテンツ視聴を取り入れた出展といたしました。また、ブース内で直接スタッフが対応させていただけるよう、従来よりもブースを広く取り、直接デモ機を触っていただくのを今回は避けるため、お客様との間にはアクリル板を入れ、オンラインで話をしながらゆったり安心してデモを見ていただき、お話しできるよう配慮しました。

お客様も非常に熱心で、このコロナ禍で貴重な情報を求めていらっしゃるだけに東京の本社オフィスにいるコンサルタントのオンライン会話が30分以上になるような場面も多々見受けられました。



アクリル板の仕切りをはさんでのお客様対応

展示会場全体でも空調設備や扉開放による常時換気、サーモグラフィによる体温測定、入口での消毒液設置を行うほか、マスク着用、ソーシャルディスタンス確保などを呼びかけ、安全対策に努めていました。

今回の出展は、改めてリアルイベントのメリットを感じさせるものでしたが、この上半期の間約40回のオンラインイベントを開催するなかで、小回りの利いた開催や多数の集客を得られるメリットがオンラインにはあることが分かりました。

社内にオンライン配信のノウハウも積みあがってまいりましたので、今後は、リアルとオンラインの良さを踏まえて、組み合わせたり、使い分けたりしながら、より「伝わる」プロモーションを実施していきたいと思っています。

セグメント別事業概況

ソリューション事業

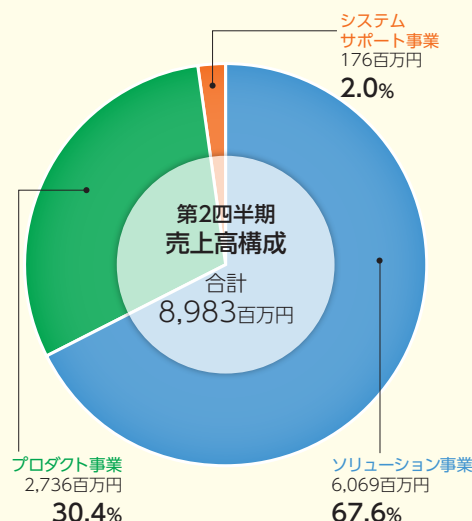
他社開発ERPパッケージ製品をベースとしたコンサルティング、システム構築につきましては、顧客の課題解決に貢献する複合型ソリューションの提供を推進し、顧客ニーズを踏まえた積極的な提案活動に努めました。当セグメントの受注高は6,747百万円（前年同期比21.0%増）、売上高は6,069百万円（前年同期比7.0%増）となりました。

プロダクト事業

自社開発ERPパッケージ「mcframe」につきましては、引き続き、顧客・ビジネスパートナーとの関係強化を図り、ライセンス販売に注力するとともに、継続的なブランド力の強化に取り組みました。当セグメントの受注高は2,277百万円（前年同期比20.6%減）、売上高は2,736百万円（前年同期比1.7%減）となりました。ライセンス売上高は1,539百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

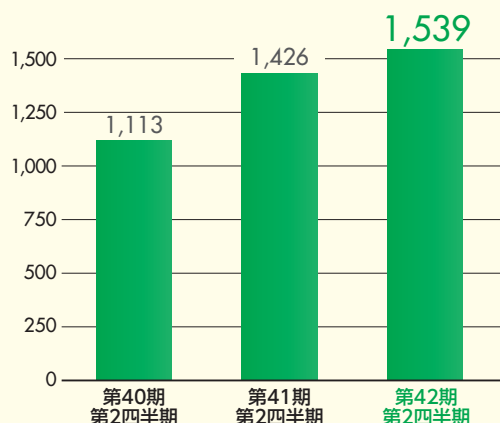
システムサポート事業

ビジネスシステムサービス株式会社が展開する運用・保守等のシステムサポート事業につきましては、引き続きシステムのライフサイクルサポートの充実に努めました。当セグメントの受注高は152百万円（前年同期比18.7%減）、売上高は176百万円（前年同期比21.6%減）となりました。



ライセンス売上高

(単位:百万円)



財務のポイント

(単位:百万円)

総資産は、現金及び預金の増加、投資有価証券の時価評価による投資その他の資産の増加等により、前期末と比較して852百万円増加し、9,445百万円となりました。

負債は、前受金の増加、短期借入金金の減少、賞与引当金の減少等により、前期末と比較して135百万円減少し、3,424百万円となりました。

純資産は6,021百万円となり、自己資本比率は63.7%となりました。

	2020年3月末	2020年9月末
流動資産	6,168	6,717
固定資産	2,425	2,727
資産合計	8,593	9,445
流動負債	3,560	3,424
負債合計	3,560	3,424
純資産	5,033	6,021
負債純資産合計	8,593	9,445

会社概要 / 株式の状況

(2020年9月30日現在)

会社概要 2020年12月1日現在

社名	ビジネスエンジニアリング株式会社
事業開始	1999年4月(設立 1980年12月)
資本金	697,600,000円
従業員数	連結646名 単体491名(2020年9月30日現在)
業務内容	企業経営および情報通信システムのコンサルティング コンピュータネットワークの企画および開発 情報通信システムの企画、開発、販売およびリース
本社	東京都千代田区大手町1丁目8番1号 KDDI大手町ビル
関西支店	大阪府大阪市淀川区西中島6丁目1番1号 新大阪プライムタワー4階
中部営業所	愛知県名古屋市中区錦3丁目4番6号 桜通大津第一生命ビル12階
グループ会社	ビジネスシステムサービス株式会社 Business Engineering America, Inc. 畢恩吉商務信息系統工程(上海)有限公司 Toyo Business Engineering(Thailand) Co., Ltd. PT. Toyo Business Engineering Indonesia Toyo Business Engineering Singapore Pte. Ltd.

役員

取締役 会長	大澤 正典
代表取締役 取締役社長	羽田 雅一
代表取締役 取締役副社長	片山 博
常務取締役	別納 成明
取締役	古田 英樹
取締役	中野 敦士
取締役	佐藤 雄祐
社外取締役	清水 弘
社外取締役	樋口 英雄
社外取締役 監査等委員	丸山 龍二
社外取締役 監査等委員	志水 直樹
取締役 常勤監査等委員	大塚 博文

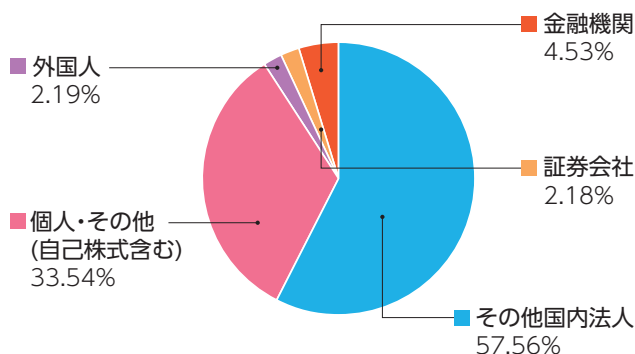
株式の状況

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	6,000,000株
株主数	7,720名

大株主

	所有株式数(株)	所有比率(%)
株式会社図研	1,140,000	19.00
三谷産業株式会社	744,000	12.40
ウイングアーク1st株式会社	480,000	8.00
株式会社インテック	360,000	6.00
キヤノンITソリューションズ株式会社	360,000	6.00
株式会社テクノスジャパン	180,000	3.00
B-EN-G社員持株会	119,300	1.98
自社(自己株口)	84,804	1.41
SMBC日興証券株式会社	80,900	1.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	71,900	1.19

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度
毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会
毎年6月

基準日
定時株主総会・期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

その他必要があるときは、
あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所[郵便物送付先・電話照会先]
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店
および全国各支店で行っております。

単元株式数
100株

公告の方法
電子公告 <https://www.b-en-g.co.jp/>

第42期中間配当のお支払いについて

当期の中間配当を以下のとおり
決議いたしました。

基準日	2020年9月30日
中間配当金	1株につき22円
支払開始日	2020年12月2日

当期の期末配当金につきましては
1株につき23円、年間配当金は45円を
予定しております。